



—吉田忠智党首とともに「2014年新春交歓会」—  
「脱原発」・「憲法改悪反対」を柱に  
2015年統一自治体選挙勝利にむけ体制確立！

吉田忠智・社民党党首  
新春交歓会には、昨年11月に党首に就任した吉田忠智党首が、初めて石川県入りし参加。党員及び支持労組、関係団体から130名が参加した。



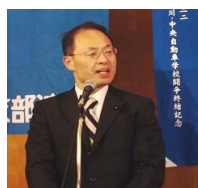
盛本芳久県連合代表

吉田党首は、「対話続行・改革断行をスローガンに、全国を回り対話することで党の政策や組織、運動をゼロから見直している」谷本正憲知事とも「ゆっくり議論したい」と挨拶した。

さらに党首は、安倍政権の右傾化に対し「特定秘密保護法廃止法案に賛同する政党と共同で、できるだけ早く通常国会に提出する」と述べた。また、2月22・23日に原子力規制委員会調査団が北陸電力志賀原発へ現地調査に入ることに触れ、脱原発への決意を語った。



谷本正憲知事



山野之義金沢市長

盛本芳久県連合代表は挨拶の中で、3月に実施される県知事選挙での谷本正憲氏（現・5期）の「支持」に触れ、谷本知事に「当選後の政策確認書の実現と志賀原発再稼働に慎重な対応」を求めた。



梶文秋輪島市長

さらに、2015年統一自治体選挙では、「党県連合の存続をかけた闘いと位置づけ、昨年末から準備を進めている。現有議席の獲得は勿論、議席の増。そして空白地区での候補者擁立で仲間を増やす体制を整えたい」と、県連合として候補者擁立を急ぐ考えを示した。



北尾強也弁護士・県社会法律センター理事長

当日は、吉田忠智党首の初来県にかかわらず、荒天のため交通機関が大きく乱れ、党首は、翌日の宮城県入りのために、滞在時間1時間でのとんぼ返りを余儀なくされることとなった。出席者からは「参加者との十分な懇談の時間がとれなかったのは残念だ。統一自治体選挙での候補者が出そろった秋頃の再来県を・・・」との声が多く寄せられた。



岩淵正明弁護士・県憲法を守る会代表委員



狩山久弥  
連合石川会長



糸矢敏夫県平和C  
代表・代行



乾杯は、宮下登詩子  
党県連合顧問